

第4編

手術料

公益財団法人 労災保険情報センター

◆ 四肢の傷病に対する手術の特例

- ・四肢加算(四肢の傷病に係る加算)
- ・手の指に係る手術の特例
 - 創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの)
 - 骨折非観血的整復術
 - 同一手術野の取扱い
- ・手指の機能回復指導加算
- ・術中透視装置使用加算

四肢加算

1.5倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む

ポイント倍

手及び手の指
(手関節含む)

創傷処理
皮膚切開術
デブリードマン
筋骨格系・四肢・体幹の手術
神経の手術
血管の手術

**形成の手術
は対象外！**

● ● ●
手の指に係る ● ● ● ● ● ●
〔創傷処理(達しないもの)
骨折非観血的整復術
**労災独自の点数で算定のため
対象外！**

四肢加算

1.5倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む



2.0倍

手及び手の指
(手関節含む)

創傷処理

皮膚切開術

デブリードマン

筋骨格系・四肢・体幹の手術

神経の手術

血管の手術

ポイント①

**形成の手術
は対象外！**

● ● ●
手の指に係る

● ● ● ● ● ●
[創傷処理(達しないもの)

骨折非観血的整復術

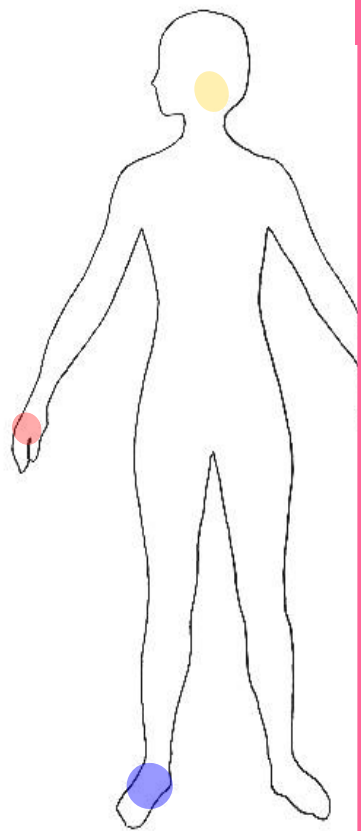
労災独自の点数で算定のため

対象外！

例題

K000 創傷処理(達しないもの)4cm
を行った場合

①右足背 ②右手背 ③顔面



労 災	健 保
① 右足背 四肢加算 $530\text{点} \times 1.5 = 795\text{点}$	530点
② 右手背 四肢加算 $530\text{点} \times 2.0 = 1,060\text{点}$	530点
③ 顔面 530点	530点

例題

手背に真皮縫合を伴う
K000創傷処理(達しないもの)4cmと
デブリードマンを行った場合



真皮縫合とデブリードマンを行った
場合、四肢加算は？

手技料の注加算・・・四肢加算可

創傷処理 4	真皮縫合 加算	デブリードマン 加算	四肢加算
(530点 + 460点 + 100点) × 2.0			
= 2,180点			

四肢加算

ポイント

四肢加算の対象ではないもの

通則の加算

通則 1 2（時間外等の加算）
は 四肢加算の対象！

医療機器等加算

特定保険医療材料料

薬剤料・輸血料・麻酔料

算定例 6

右肩甲骨にK 0 4 6 骨折観血的手術を
行った場合 [閉麻 5 (口) (1 時間 3 0 分)
C型肝炎感染患者 の場合

労 災

健 保

骨折観血的手術 1 四肢加算
 $21,630 \times 1.5 = 32,445$ 点
 C型肝炎感染患者加算 1,000 点
 閉麻 5 (口) 6,000 点

 合 計 39,445 点

21,630 点
 1,000 点
 6,000 点

 28,630 点

通則 1 1 (C型肝炎感染患者加算)

麻酔料

四肢加算 不可

例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と
創外固定を行った場合（時間外）

健 保

骨折観血的手術 2

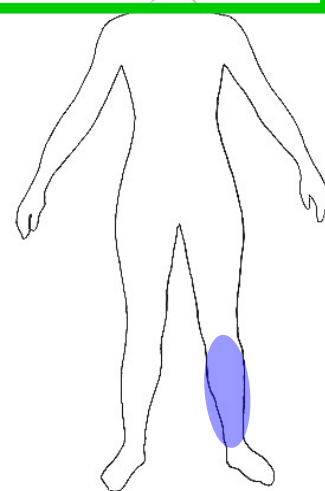
時間外加算

$$18,370\text{点} \times 1.4 = 25,718\text{点}$$

創外固定器加算

10,000点

35,718点



例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と
創外固定を行った場合（時間外）

労 災

骨折観血的手術 2

時間外加算 四肢加算

$$18,370\text{点} \times 1.4 \times 1.5 = 38,577\text{点}$$

創外固定器加算

10,000点

48,577点

通則 1 2 (時間の加算)

四肢加算 可

医療機器等加算(創外固定器加算) 四肢加算 不可

例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と
創外固定を行った場合（時間外）

労 災

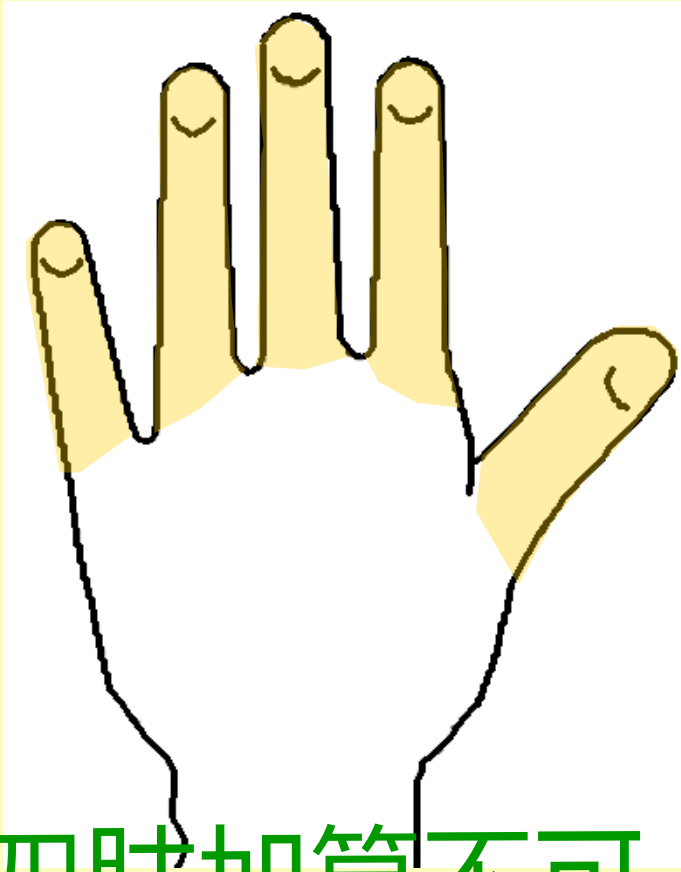
$$\begin{array}{rcll} \text{骨折観血的手術 2} & \text{時間外加算} & \text{四肢加算} & \\ 18,370\text{点} & \times 1.4 & \times 1.5 & = 38,577\text{点} \\ \text{創外固定器加算} & & & = 10,000\text{点} \\ \hline & & & \mathbf{48,577\text{点}} \end{array}$$

健 保

$$\begin{array}{rcll} \text{骨折観血的手術 2} & \text{時間外加算} & & \\ 18,370\text{点} & \times 1.4 & & = 25,718\text{点} \\ \text{創外固定器加算} & & & = 10,000\text{点} \\ \hline & & & \mathbf{35,718\text{点}} \end{array}$$

手の指に係る創傷処理

筋肉・臓器に達しないもの



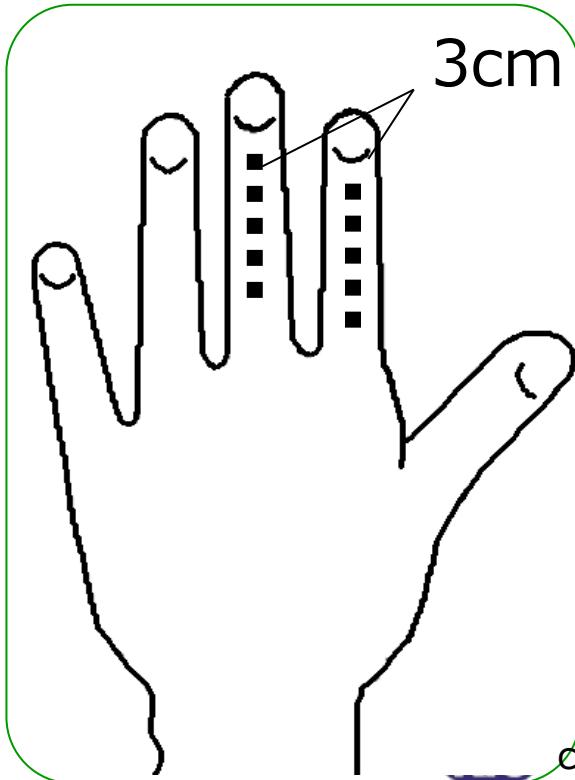
労災独自の点数

指 1 本	1, 0 6 0 点
指 2 本	1, 5 9 0 点
指 3 本	2, 1 2 0 点
指 4 本	2, 6 5 0 点
指 5 本	2, 6 5 0 点

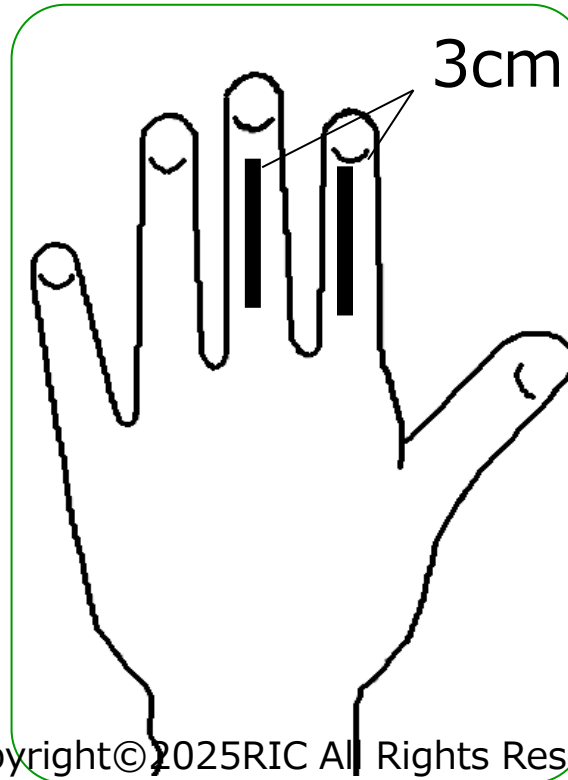
四肢加算不可！

第 2 指、第 3 指の挫創に対し、次のように 創傷処理とデブリードマンを行った場合

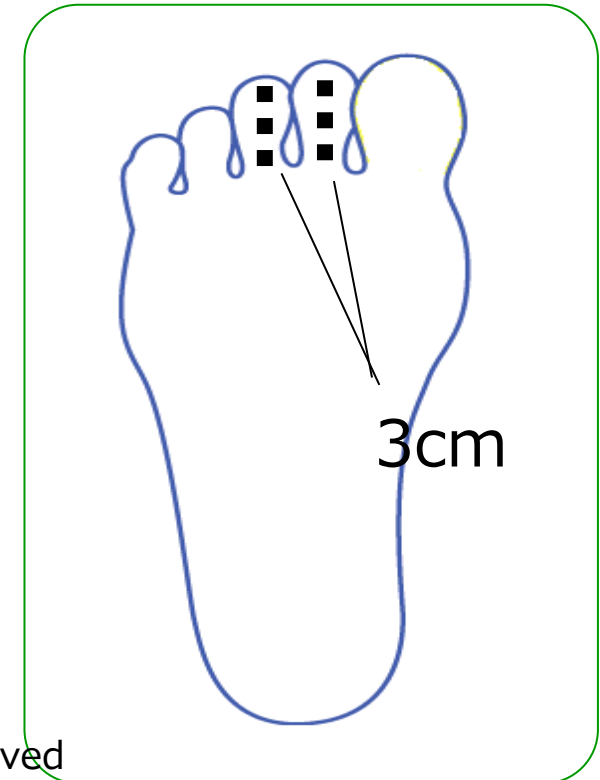
①手の指
達しないもの



②手の指
達するもの



③足の指
達しないもの

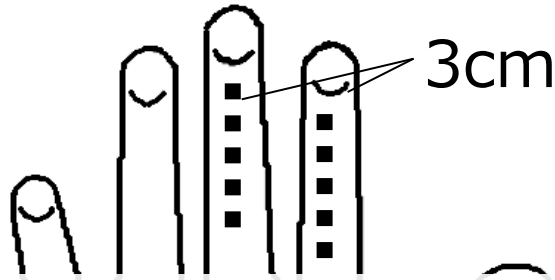


算定例 2

① 手の第2指、第3指の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの) 3 cm、
デブリードマンを各々行った場合

① 達しないもの

➡ 労災独自の点数



創傷処理(達しないもの)指2本 1,590点

デブリードマン加算
100点

× 四肢加算
2.0 = 200点

合 計

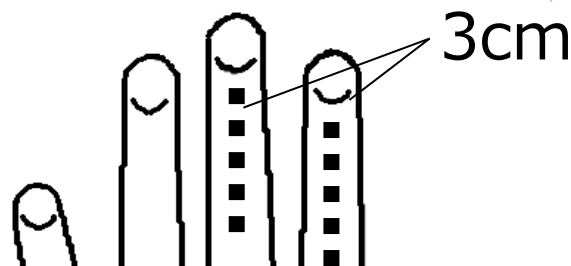
1,790点

算定例 2

② 手の第2指、第3指の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達するもの) 3 cm、
デブリードマンを各々行った場合

(四肢加算)

② 達するもの ➡ 健保点数の2.0倍



創傷処理 2

デブリードマン
加算

四肢加算

$$\begin{aligned}
 & (1,880\text{点} + 100\text{点}) \times 2.0 \\
 & = 3,960\text{点}
 \end{aligned}$$

算定例 2

③ 足の第2趾、第3趾の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの) 3 cm、
デブリードマンを各々行った場合

③ 足の指
(達しないもの)

(四肢加算)

➡ 健保点数の 1.5 倍



創傷処理5

デブリードマン
加算

四肢加算

$$(950点 + 100点) \times 1.5 = 1,575点$$

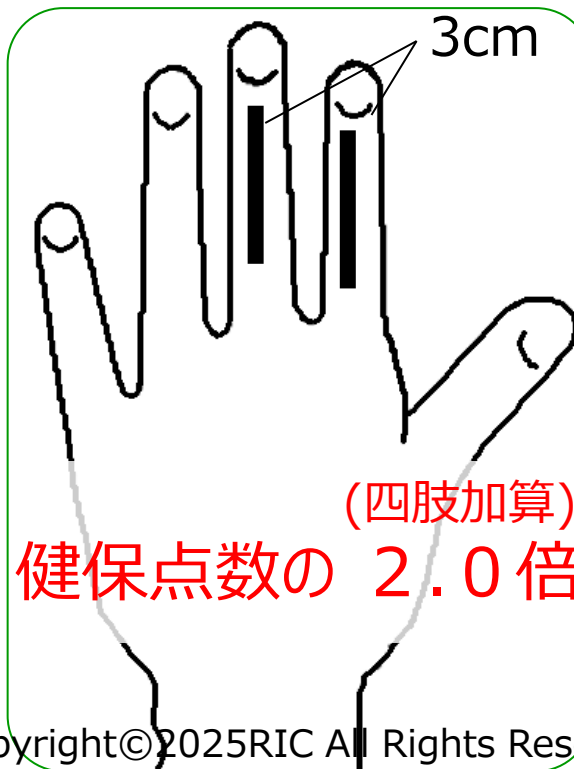


第 2 指、第 3 指の挫創に対し、次のように
創傷処理とデブリードマンを行った場合

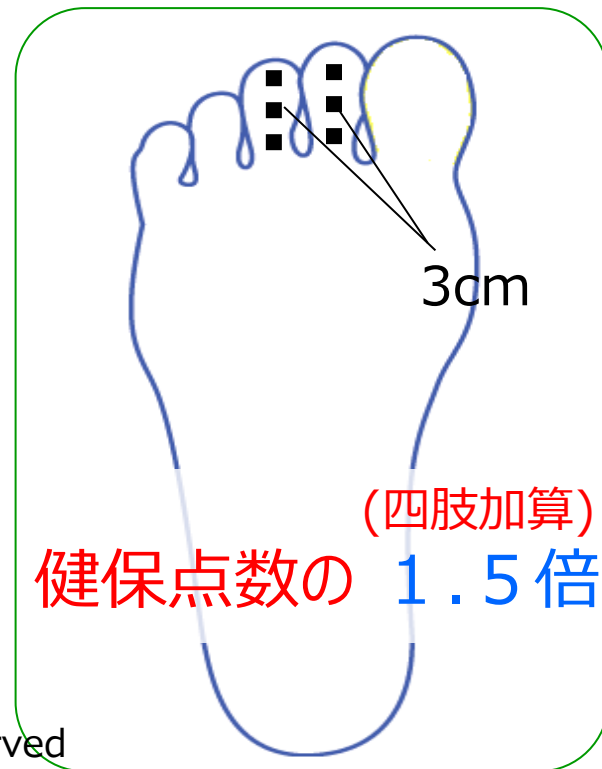
①手の指
達しないもの



②手の指
達するもの



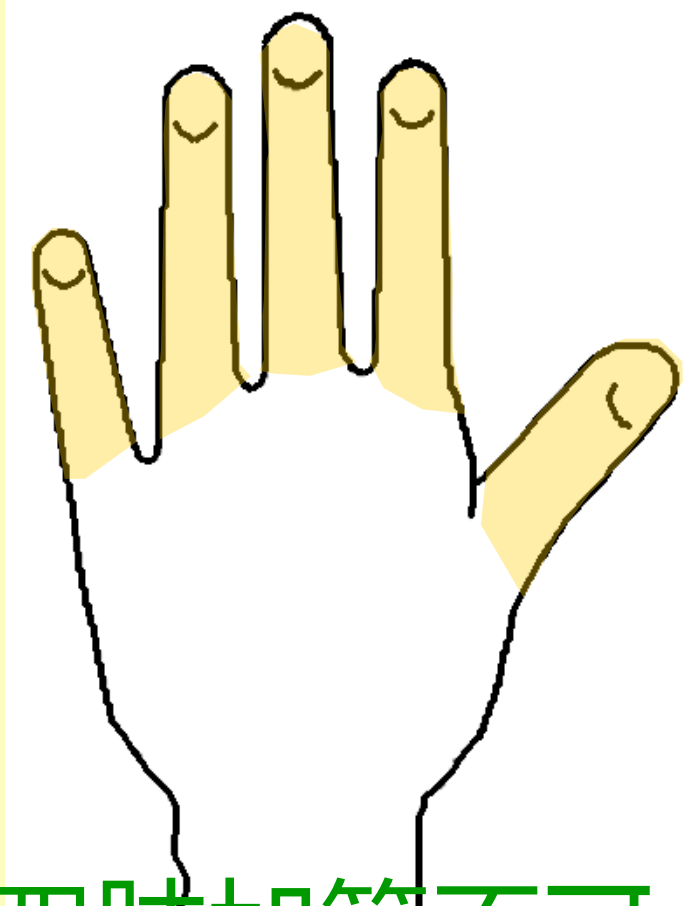
③足の指
達しないもの



レセプト記入例（算定例 2 ①）

摘	要
50	*創傷処理（筋肉・臓器に達しないもの） （指2本）（左手第2指・第3指） $1,590 \times 1$ *デブリードマン加算 200×1 （100×2.0） （手術日〇〇年〇〇月〇〇日）

手の指に係る骨折非観血的整復術



労災独自の点数

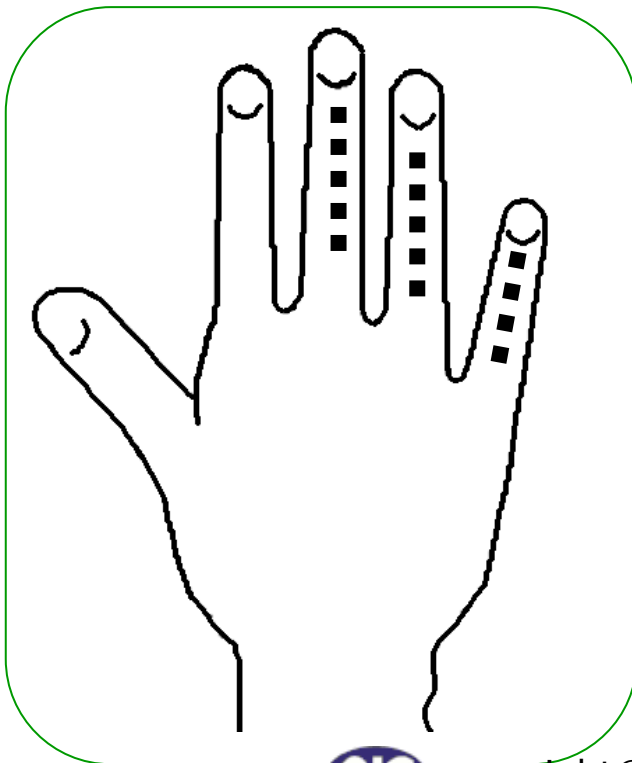
指 1 本	2, 8 8 0 点
指 2 本	4, 3 2 0 点
指 3 本	5, 7 6 0 点
指 4 本	7, 2 0 0 点
指 5 本	7, 2 0 0 点

四肢加算不可！

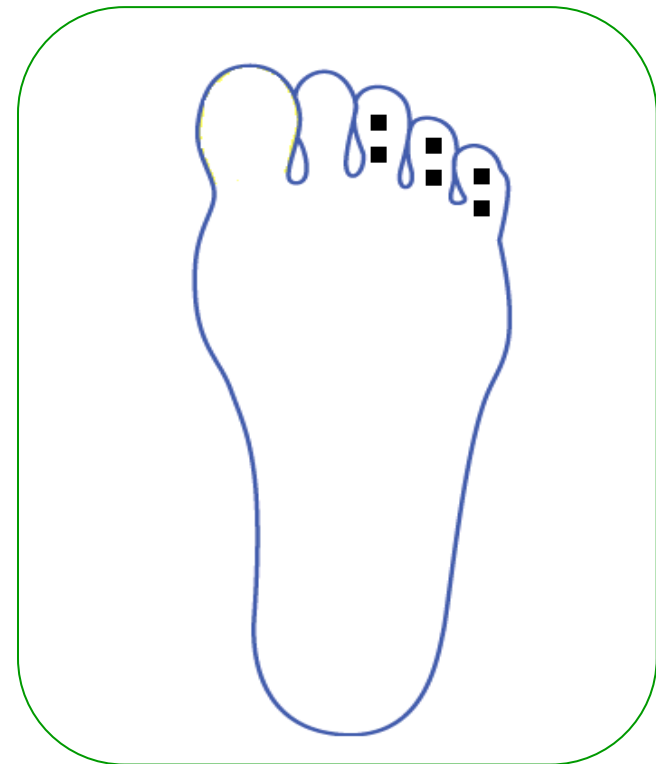
算定例 3・4

第3指、第4指、第5指の骨折に
K044骨折非観血的整復術を行った場合

算定例 3 手の指



算定例 4 足の指



手の第 3 指、第 4 指、第 5 指の骨折に対し
K044骨折非観血的整復術を行った場合

手の指

➡ **労災独自の点数**



骨折非観血的整復術（指 3 本） **5,760点**

足の第 3 趾、第 4 趾、第 5 趾の骨折に対し
K044 骨折非観血的整復術を行った場合

足の指



(四肢加算)



健保点数の 1.5 倍

骨折非観血的整復術 3
1,440点

×

四肢加算
1.5

=

2,160点

算定例3・4

第3指、第4指、第5指の骨折に
K044骨折非観血的整復術を行った場合

算定例3 手の指



算定例4 足の指



レセプト記入例（算定例 3）

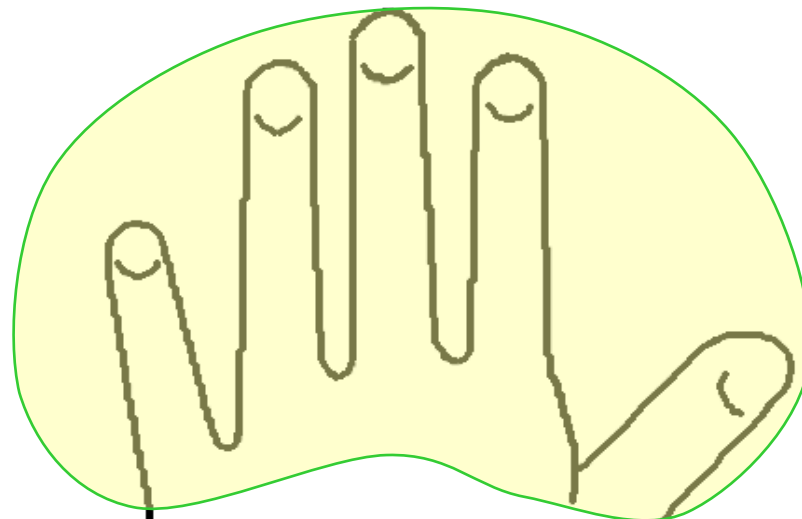
摘	要
50	*骨折非観血的整復術（指3本） （右手第3指・第4指・第5指） 5,760 × 1 （手術日 ○年 ○月 ○日）

創傷処理と骨折非観血的整復術

	手の指に係る	四肢に係る (手の指以外)
骨折非観血的 整復術	労災独自の 点数	健保点数に 四肢加算
創傷処理 (達しないもの)		
創傷処理 (達するもの)		

創傷処理（達しないもの） 骨折非観血的整復術 手の指に係る同一手術野の範囲

健保



第 1 指から第 5 指までを同一手術野とする手術

創傷処理（達しないもの） 骨折非観血的整復術 手の指に係る同一手術野の範囲

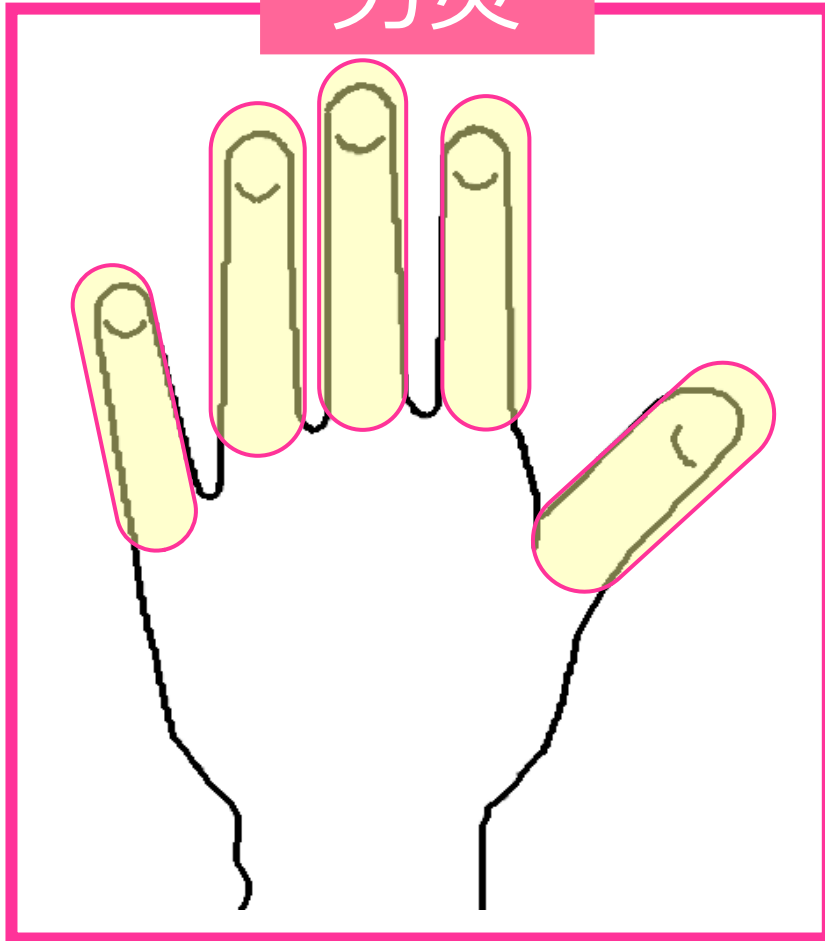
労災



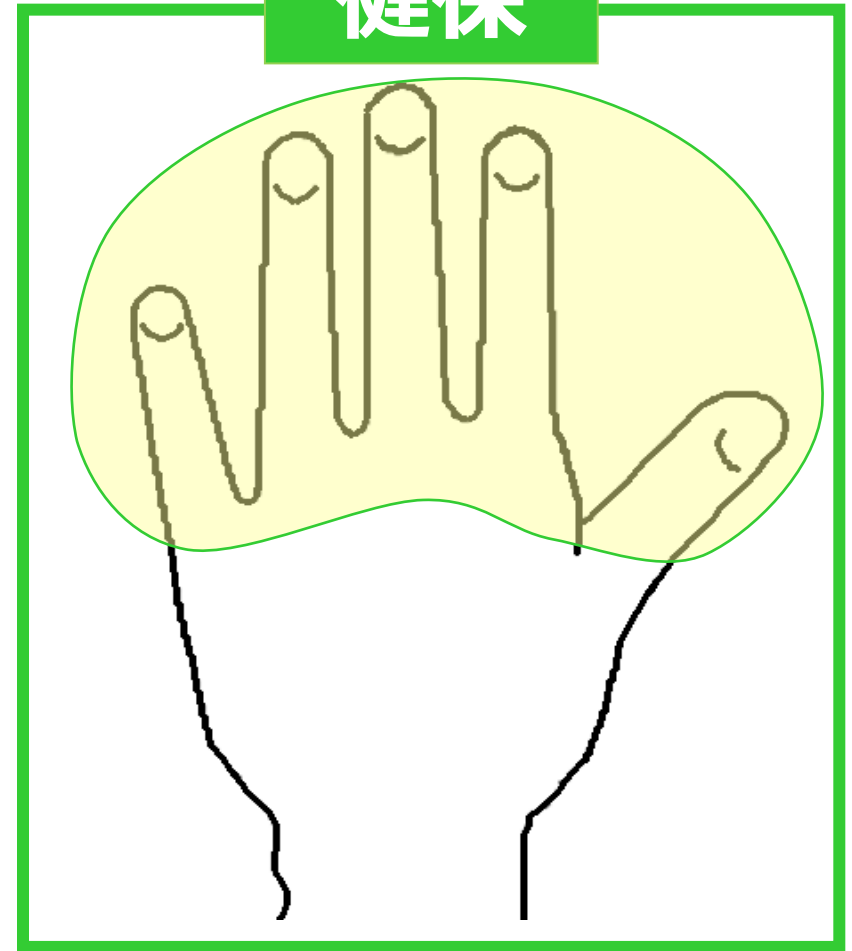
第1指から第5指（中手部・中手骨を含まない）
までを別の手術野とする手術として扱う

創傷処理（達しないもの） 骨折非観血的整復術 手の指に係る同一手術野の範囲

労災



健保



算定例 7

テキスト 166 頁

左手指に次の手術を行った場合

第1指 K044 骨折非観血的整復術

第2指 K000 創傷処理(達しないもの) 3 cm

労災



通則14 (4)-ア

骨折非観血的整復術

(指1本)

2,880点

創傷処理(達しないもの)

(指1本)

1,060点

合 計

3,940点

健保



通則14 (4)-イ

1,440点

~~530点~~

合 計 1,440点

例題

左手指に次の手術を行った場合

第1指 K044 骨折非観血的整復術

第2指 K000 創傷処理(達するもの) 3 cm

労災

通則14(4)-工

骨折非観血的整復術(指1本)

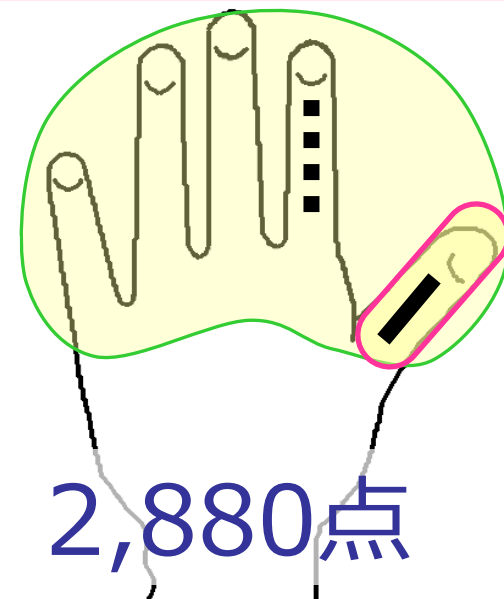
2,880点

~~創傷処理1(達するもの) 四肢加算~~

~~1,400点 × 2.0 = 2,800点~~

合 計

2,880点



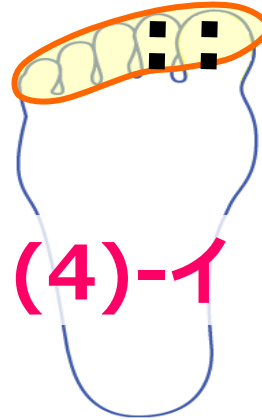
算定例 8

左足指に次の手術を行った場合

第1趾 K044 骨折非観血的整復術

第2趾 K000 創傷処理(達しないもの) 3 cm

労災



通則14 (4)-イ

骨折非観血的整復術

四肢加算

1,440点 × 1.5 = 2,160点

創傷処理(達しない)

四肢加算

~~530点 × 1.5 = 795点~~

合 計

2,160点



copyright©2025RIC All Rights Reserved

健保



通則14 (4)-イ

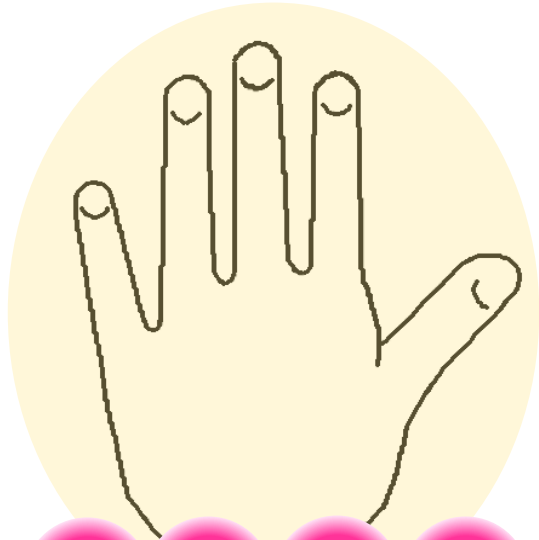
1,440点

~~530点~~

合計 1,440点

手指の機能回復指導加算

手関節以下



1 9 0 点（1 回限り）

創傷処理

皮膚切開術

デブリードマン

筋骨格系・四肢・体幹の手術

ポイント①

時間外等の加算

四肢加算

・・・算定不可

神経の手術

血管の手術

形成の手術

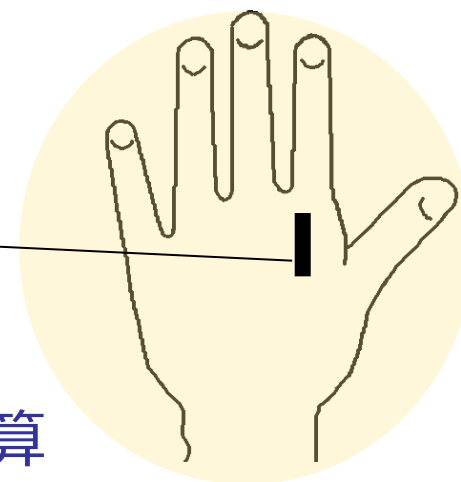
・・・対象外！

算定例3

時間外に次の手術・指導を行った場合

左手
第2中手骨[K046 骨折観血的手術
初期治療における機能回復指導

骨折観血的手術



骨折観血的手術3 時間外加算2 四肢加算

$$11,370\text{点} \times 1.4 \times 2.0 = 31,836\text{点}$$

機能回復指導加算

190点

合 計

32,026点